



日々のブログ更新中!



## アサガオの睡眠時間

園長 北村 宏

長くて暑い暑い夏休みが終わり、今日から2学期が始まりました。これまで経験したことがないような暑さの毎日でしたが、登園してきた子どもたちは、みんな元気そうで、とてもうれしく思います。保護者・地域の皆様には、2学期もお力添えいただけますよう、お願い申し上げます。

本日の始業式、子どもたちにこんな話をしました。

みなさん、この花の名前を知っていますか？この花は、「アサガオ」といいます。みなさんのおうちにも咲いているかもしれませんね。アサガオの花にはいろいろな色がありますが、どれも1日のうちで咲く時間が咲く時間が決まっています。朝？お昼？夕方？それとも夜でしょうか？

正解は「朝」です。アサガオという名前もそこから来ています。サツマイモの仲間だなんて聞くと少しびっくりですね。

このアサガオの花が大好きな女の子がいました。名前は「じゅんこさん」。じゅんこさんは、大好きなアサガオの花のつぼみが開くところをどうしても見てみたいと思いました。つぼみはこんなふうにおしぼりをしぼったような形をしています。それがまんまるにひらくようすが見たかったのです。おうちの人をお願いして、朝早く起こしてもらおうことにしました。

じゅんこさんは、花が開くところを見ることができたでしょうか。

残念ながら6時に起きても、5時に起きても、花は開いてしまった後でした。

中学生になったじゅんこさんは、決心します。アサガオの鉢を自分の部屋に持ち込んで、一晩中起きていて、アサガオの花が開くのを絶対見てやろうと考えました。眠い目をこすりながらもわくわくした気持ちで待っていましたが、その日アサガオが咲くことはありませんでした。

じゅんこさんは、やがてアサガオの花のなぞを突き止めました。それは「朝明るくなったから開くのではなく、前日おひさまが沈んで暗くなってから10時間たつと開く」のだそうです。アサガオが大きくきれいに花を開くには10時間ぐっすり眠らなければいけないのです。

私たちにとってもぐっすり眠ることは、毎日元気に過ごすためには、とても大切です。今日から2学期。「遠足」「運動会」「作品展」「クリスマス会」など楽しい活動がいっぱいです。しばらく続く暑さに負けないように、そして2学期ずっと楽しく過ごせるように、「早く寝てぐっすり眠って早起き」をしましょう。



※「じゅんこさん」は、中学1年生の夏休みの自由研究から、アサガオの研究を一生の仕事にしたいと考え、京都大学大学院に進み、農学博士となり、アサガオ研究の第一人者となった貝原純子さんです。